

| | | | | | | | | | | |
|-----|---|----|---------|-----|------------|----|-----|----|----|-------|
| No. | ① | 分類 | 2-(1)-ア | 資料名 | わたしが生まれた理由 | 学年 | 全学年 | 領域 | 道徳 | 3-(1) |
|-----|---|----|---------|-----|------------|----|-----|----|----|-------|

1 ねらい

生命に対する尊厳や人権を尊重する意識を高め、より良い社会を築くために人権課題に積極的に取り組もうとする意欲をもつ。

2 趣旨

- 中学生時代は、自己中心的な考えにとらわれがちで、自他の関係や社会を客観的に見ることができないこともある。個人の幸福は、集団や社会全体が幸福になるなかで実現するという視点を身につけさせたい。
- 社会の中では、自分の言動は一人だけのものではなく、集団を築く要因となっている。自分の言動が、集団にどのような影響を与えているかを振り返ることにより、社会の担い手であるという自覚をもたせたい。
- 個人がさまざまな欲望を膨らませることが、社会の矛盾や差別を生み出す場合があることを気づかせる。また、人間と自然を対比させ、自然から学び謙虚に大らかに生きていこうとする姿勢を培いたい。理想の社会を語ることにより、自己を成長させようとする意欲を育てたい。

3 配慮事項

- 解釈に縛られず、自由に自分の生き方や考え方が述べ合える雰囲気大切に。あらかじめ同名の短詩を創らせ発表させることもできる。

4 展開例

| 学 習 内 容 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|--|--|
| <p>1 詩を読んで理解する。</p> <p style="text-align: center;">詩の言葉に込められた意味を考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一連「本当の強さ」とは何か。 ・二連「群れを拒む」とはどういう意味か。 ・三連「優越」はなぜ生まれるのか。 ・四連「つつましき」とはどういう態度のことか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する答えを考えさせ、発表させる。 ・自由に鑑賞するよう促す。 |
| <p>2 詩の中で、共感できる部分を出し合う。</p> <p style="text-align: center;">最も心に残ったところはどこでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駈けぬけよ その優しさで ・わたしだけの緑を光らせたいの ・わたしは消さない 臙脂の炎 | <ul style="list-style-type: none"> ・一か所選び、理由を挙げながら発表させる。 ・自分の経験や思いと重なる点などを紹介させる。 ・各連の主旨は、 一連「いのちを育む大地の偉大さ」 二連「個として自立を願う前向きさ」 三連「差別に負けないという意志の強さ」 四連「理想の社会の実現をめざす志」と考えられる。 |
| <p>3 理想の実現のためには何が必要か考える。</p> <p style="text-align: center;">「無二の世界」をつくるために、どんな行動が必要なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰の話も丁寧に聞く。 ・いろいろなことに関心をもって視野を広げる。 ・大切なことは自分一人でもしようとする。 ・差別に対する怒りをもつ。 ・人と人とのつながりを大切にする。 ・自分の思いを上手に伝える力をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これから自分に必要なものは何かを自覚させながら発表させる。 |

5 参考

- この詩は、新温泉町立浜坂中学校3年生の3名の生徒が合同で制作をしたものである。